



お元気ですか!

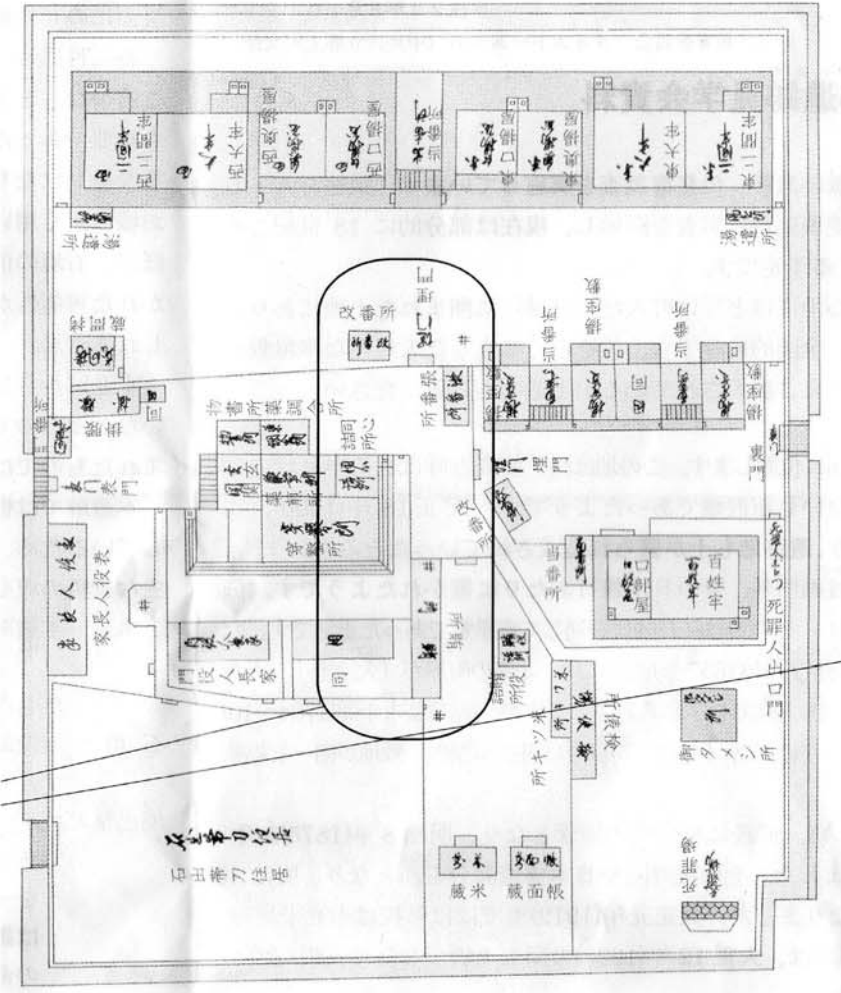
志村 たかよし です

第605号 2012年8月26日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

牢屋敷之図 牢屋敷内の様子 (安政6年(1859)頃か)



1859年(安政6年)頃の牢屋敷の様子。中心の枠内が発掘現場。

発掘 伝馬町牢屋敷跡遺跡

唐突ですが、クイズです。
吉田松陰、平賀源内、高野長英、渡辺
崋山、佐久間象山、橋本左内、鼠小僧次
郎吉が、すごした共通の場所はどこでし
うか?

答えは「伝馬町牢屋敷」です。

旧十思小学校跡地(現十思スクエア)
の工事にもなつて、「伝馬町牢屋敷遺
跡」の発掘調査が5月から行われていま
すが、8月10日に見学会が開かれました。
調査は幕末の頃の地表面から開始し、
現在、18世紀ころの地表面に達していま



遺跡を前にして、説明を聞く参加者のみなさん

す。
牢屋敷は、1875(明治8)年に取
り壊され、1907年までには寺院や十
思小学校用地になっていたそうです。
江戸の牢屋敷が発掘調査されるのは、
初めてであり、全国的に見ても大規模な
牢屋敷の発掘は例がないと言っています。
この遺跡は、調査後、工事のために破
壊されてしまいます。これからは、写真
や出土遺物で見ることができないと
は。歴史的遺跡を、文化財として、観
光資源として、後世に残せない経済優先
のまちづくりでいいのでしょうか。

遺跡で目につくのは縦横に走る上水道や石垣です（写真）。石垣で外部と遮断された牢屋敷内では水の確保がとても重要だったことを物語っています。牢屋敷は、今で言う刑務所ではなく拘置所だったそうで、泥棒から政治犯まで入牢していました。



暑い日照りの中、発掘作業が続いています



上水井戸と縦横に走っている上水木桶



職員に質問する参加者の方たち

「意見」「要望など、お気軽に「連絡ください」(03)5566-9909)」

(掲載写真は志村撮影)

ブログもごらんください

志村たかよしワールド

検索